

「環境政策理論の再検討」報告要旨

麗澤大学 永井 四郎

本稿の目的は、現行の環境政策理論のうち温暖化ガス排出における企業の限界削減費用分析について原理上の問題点を明らかにし、限界削減費用曲線に替わる企業の「炭素削減曲線」を定式化することである。また限界収益分析を用いて、企業による環境技術の開発インセンティブをめぐる問題や政策当局と産業との税率交渉の可能性について理論的考察を試みたい。